

事業報告書 (No. 15)

1 支援団体名	人吉・球磨自然保護協会
2 事業名称	川辺川流域植樹体験(地球温暖化防止に関わる山村交流活動)
3 実施日時	平成19年7月28日・29日・30日(2泊3日)
4 実施場所	熊本県球磨郡大規模林道・松尾国有林及び球磨郡五木村小浜どんぶり淵
5 事業目的、内容及びその効果	<p>(事業実施状況・内容)</p> <p>7月28日(土)</p> <p>(1) 森林教室 川辺川の自然(川辺川ダム砂防事務所調査設計課長・嶋崎 明寛)</p> <p>(2) カヌー教室 指導・人吉市カヌー協会</p> <p>(3) 山村交流 地球温暖化防止について大都市住民と地元民の座談会</p> <p>7月29日(日)</p> <p>(1) 記念植樹 ケヤキ2本を植栽・標柱建立</p> <p>(2) 体験林業 豊かな水を育む水源林整備活動・林業指導員</p> <p>(3) 森林教室 森林による地球温暖化防止(熊本県立大学准教授・山田 敏弘)</p> <p>(4) 啓発活動 風船200個に森林・河川愛護の手紙を吊して一斉に放つ</p>
	<p>(実施事業効果)</p> <p>本事業の実施によって、大都市と山村との間に親近感が生まれるとともに意識の向上 市民参加による水源林整備への必要性が認識され、また、清流を漕ぐカヌー教室などを 通して、大都市を流れる河川と山村を流れる河川環境の比較検討が容易になり、将来の 川づくりや河川管理のあり方について、認識を新たにしている。</p>
6 参加内訳	総人数 (2泊3日延べ人数) 225名
	(1)主催者参加 10名
	(2)日本人参加((1)を除く) 65名
	(3)外国人参加((1)を除く) 0名
7 今後の方針	<p>大都市と山村では、河川環境保全の考え方にかなりの開きがあり、それを周知させる ために緑の少年団による交流活動を継続して、住民や行政が一体となった活動のマニ ュアル化を図りたい。また、このような活動を国内に広めるための啓発・広報活動にも力 を入れ、地球温暖化防止を兼ねた河川環境・水源林保全活動を他の地域へ普及させたい と念じている。</p>

福岡県立四王寺県民の森緑の少年団による記念植樹
(松尾国有林・人吉球磨自然保護協会植林地)



「森林と地球温暖化防止」佐藤講師

